

令和4年度おすすめ 人権教育・啓発用ビデオの紹介

夕焼け (35分)

企画：兵庫県

主人公は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族であるのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、ケアラーだった元担任との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。年齢属性を問わず、共に助け合える『だれもが人権尊重される社会』の実現をめざす人権啓発ドラマです。



私たち一人ひとりができること

～当事者意識をもって考えるコロナ差別～
(26分)



新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、主人公の家庭では、身近に感染者が出ていないこともあって危機意識も徐々に薄れていき、どこか

他人事のように考えていました。ところが、主人公の同級生の家族が感染して…。コロナ差別の特徴や向き合い方について考えることのできる作品です。

シェアしてみたらわかったこと

(46分)



上京して、期待を胸に入居したシェアハウス。そこに暮らしているのは、個性豊かな住人たち。外国人に関する人権、性自認や性的指向に関する人権、外から見えにくい障がいのある人の人権、災害時の人権等、様々な人権について共に考えていくことのできる作品です。

日頃の言動から考える 職場のハラスメント (29分)

職場において、日頃の何気ない言動がハラスメントにつながる可能性があります。ハラスメントを防ぐためには、どのようなことを意識すれば良いのでしょうか。職場で起こりがちなハラスメントやそのグレーゾーンについて、様々な事例をもとにした考え方のポイント、ハラスメントが起こりにくい職場環境作りについて自分事として考えることができる作品です。



レインボーストーリーズ LGBTsと社会

地域社会～ありのまままで過ごせるコミュニティ～
(22分)



地域社会においては、男女の役割意識や価値観が根強く残っていることも多く、何気ない一言が周囲の人々を傷つけてしまうこともあります。トランスジェンダーの登場

人物を中心に誰もが地域社会の一員として、居心地よく過ごすことができるための取り組みの工夫が描かれています。

知りたいあなたのこと (21分)

視覚障がい者の生活・気持ち

目が見えないということ、私たちはどこまで想像できているのでしょうか。この作品では、3人の全盲の方と1人の弱視の方に取材しています。一体どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。視覚に障がいを持つ方々の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考える作品です。

